



網目状陶磁器照明

作者紹介 和田秀雄さん

松戸市五香在住。1932年東京生まれ、一級建築士として建設会社（1999年定年退職）で働く傍ら、趣味としての創作陶芸歴は40数年。1997年、「網目状陶磁器」並びに「網目状陶磁器の製造方法」

による特許取得。「テーブルウエアフェスティバル暮らしを彩る器展」「千葉県発明考案展」「朝日現代クラフト展」「東京陶芸展」などで入賞・入選多数。個展も開催しています。

「こんなに楽に押せるなんて！」

第2回地域交流カフェ アシスト車いすなどを体験しました

4月19日(火)、八柱市民センターにて第2回目の地域交流カフェをひらきました。今回も利用者さんのご家族・近隣の方・介護関係者など参加いただき、和気あいあいとしたムードの中で行われました。

今回は「福祉用具についての知識を高めよう」とのテーマで、介護ショップからたちの連携先である福祉共同サービスの皆さんにご協力いただき、各種の電動ベッド、車いす、摩擦軽減用具などを持ち込んでいただきました。

最初に、福祉協同サービスの馬場是さんに、利用者本人や介助者の状況と目的にあわせた機能をもつ電動ベッド(特殊寝台)や車いすの活用方法を話していただきました。体位変換をスムーズに安全におこなえる特殊な布でつくられた摩擦軽減用具の使い方も説明していただきました。

実際にアシスト車椅子(電動)に乗ったり、押したり、福祉用具に触れ体験して、「坂道をこんなに楽に動かせる車椅子があったの?」「車椅子から立ち上がろうとするとブレーキが利くなんて、すごい!」などと最新の福祉用具に驚きの声も多く聞かれました。

会の最後には、またまた職員によるハンドベル演奏「大きな古時計」を披露しました。ハンドベルに合わせ、皆さんも歌を口ずさまれ、終始和やかな雰囲気の中、会の終了となりました。最後に、参加していただいた方より「今度は食べるということについて学ぶのも良いわね」とのお声もいただきました。

次回 第3回地域交流カフェ お知らせ

テーマ「食について」

6月21日(火)、午後2時から4時

場所:八柱市民センター2階会議室

どなたでもご参加自由です。栄養士から話を聞いたり、介護食の試食をしたり、一緒に学びましょう!



「住み慣れた地域で自分らしく」を支援

看護小規模多機能型居宅介護の勉強会

看護小規模多機能型居宅介護(看多機)「さんしょう」の開業まであと4か月。看多機は介護保険事業として4年前に創設されましたが、事業所は少なく、一般どころか医療・介護関係者の間でも知られていないのが現状です。幸樹会の職員でも経験者は少数、そこで日本看護協会のテレビ特別番組「看護の心をみんなの心に～暮らしを支える看護師たち～」という動画を見て、今回勉強会を開催しました。

大塚かすみ: 看多機は、訪問看護・訪問介護・通い(デイサービス)・泊まり(ショート・ステイ)のすべてに対応する新しい事業所で、小規模多機能居宅介護ともちがって、医療ニーズに対応できることが特徴です。病院から退院するときに、本人や家族が在宅療養に不安がある場合など、看多機を利用しながら在宅生活を組み立てていく、というようなことなどができるようになります。動画を見てどんなことを考えましたか?

宮崎由香里: 今までのがん末期の方や難病の方のために、



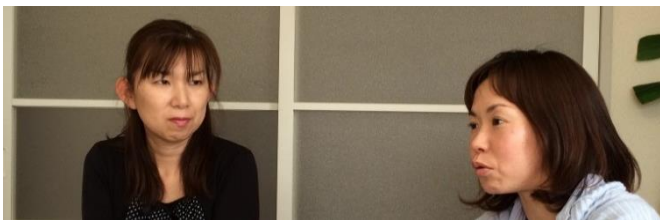
レスパイトで利用できる施設を探しておいたほうがいいのかなどは思っていました。この動画を見て、看多機があればレスパイトとしての利用もできるのだなど率直に感じました。

レスパイト：在宅でケアしている家族を癒やすため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス

大塚：今の地域医療・介護の現状で医療的ケアが必要な方とご家族が利用できる施設で思い当たるところはどこですか？

医療的ケア：点滴や吸引・経管栄養などのケア

宮崎：訪問診療をしている主治医とつながりのある医療機関と考えています。医療的ケアが必要な方でなければ、介護保険で利用できる施設のショートステイで受けもらえる環境ではあるのですが、吸引が頻回に必要な方とかは、なかなか…。看多機というサービスができて、そういう方が利用できる選択肢の幅が広がるんだと思いました。



大塚：滝沢さんは施設介護の経験、現在は訪問介護を経験されていますね。私は、看多機はそのどちらの要素もあるように感じているのですが、いかがでした？

滝沢奈々：正直まだいろいろな想像ができていないというのが現状です。利用者の個々の状況にあわせた支援方法などをこれから学んでいきたいと思えます。



中野三代子：病状が重い方や見取りも看多機で対応できると思いますが、医療依存度の高い方ばかりが利用できるというわけでもないので、どんな方が利用できるのか、もう少し柔軟に考えてみましょうか。

大塚：そうですね。認知症の独居の方や老老介護の方々の中には、病気の管理も心配だけど、自宅での生活を中心に過ごしたいと考えている方もいらっしゃいます。なじみの看護師・ヘルパーが通い、泊まり、訪問看護・介護を複合的に行うことで安心していただけると思えます。

田中和世：泊まりや通い、訪問看護・介護が病状や介護状況によって、自由に使えるということはご本人・



▲上棟間近の看多機等複合施設のエントランス部分で

ご家族のニーズにより応えられるかもしれないですね。それぞれ別のケアが必要なご夫婦が、一緒に看多機を利用して在宅生活を送る、なんてことも可能になってきますよね。

中野：今、幸樹会であらず訪問看護・居宅介護・ケアステーションゆずで関わっている利用者さんの中でも、もし看多機ができたならご本人・ご家族の望む生活により近づけるといふ方もいるかもしれません。そういう視点をもって支援していけたらと思います。

大塚：通いは、レクリエーション中心ではなく「日中過ごす場所」で「その人の能力が輝く場所」になるといいと思います。小料理屋の女将だった方が、通いのご飯づくりを手伝うようになり、活力がでてきて、臥床がちだった生活が一変したという例もあります。

宮崎：いいですね。通いに関しても、固定の曜日しか使えないというわけではないのですよね？

例えば、この日はどうしても家族が出かけたいから、日中通いに行くことはできないかということも可能ということですよね？

大塚：そうです。



奥村万里子：ほかにメリットとして、例えば「家でトイレに行けるようになりたい」という目標がある方がいた場合、看多機であれば自宅の環境を知っているヘルパー・看護師が、通いに来ているときにそれに沿ったリハビリなどの支援ができるということも大きいと思います。通いで様子、家での様子その両方とも知っているからこそできる支援があるのではと思

ます。

大塚：点ではなく、面で支えることができるということですね。

田中：今までどんな方が看多機を利用できるかが想像できなかったのですが、誰でも利用できるということが分かりました。

大塚：看多機を利用することで元気になって、いずれ看多機を“卒業”するというのもあると思います。逆に、病状が悪化して、病院や他の施設へということもあるかもしれない。ここですべてのサービスが完結するわけではなく、現在のサービスでは補えていない部分を活用するとともに、他のサービスとのつなぎ目としての役割を果せたらと思います。

中野：施設・病院・在宅それぞれの必要性と良さがあるし、その選択の基本はご本人・ご家族の意向です。そのなかで、個別・分業的になりがちなサービスの一つの事業所で複合的・統合的に柔軟に組み合わせられる看多機だからこそ、今回開設しようと思いました。ご本人・ご家族が自分たちらしく生活する選択肢の一つとして考えてもらえたらいいなと思います。



大塚：そのためには、地域の方々のご理解ご協力も得られるような努力が必要ですね。

中野：そうです。そして働くスタッフも柔軟に考えられるようになることが大切です。訪問・通い・泊まりのサービスを提供するなかで、利用者・家族の皆さんの生活と意思の全体像が把握できるようになるので、よりその人らしい生活を支援することができるようになると思います。それを学び、身につけていきましょう。

ケアマネ



在宅療養

「ケアマネジャーって何をしているの？」vol.3

【あんず居宅介護支援事業所 宮崎由香里】

ケアマネジャーの役割は、利用者（家族）の要望、ニーズを把握して介護支援計画を考え、その実現のために、訪問看護、排泄介助など身体介護や生活支援、リハビリ、福祉用具などの介護保険サービス事業所などを紹介し、その人らしい生活を送れるよう、利用者と介護保険サービスとを繋げることです。

人生は偶然の出会いの積み重ねだと思っています。ケア

マネジャーだけでなく、そのケアマネジャーが紹介したデイサービスで友達ができた、来てくれるヘルパーさんの言葉のなまりが懐かしい！など、偶然の出会いが日々を豊かにしてくれることもあるでしょう。反面どんなに知識と経験があっても、人と人の関係であるが故に「この人なんだか合わないなあ」と感じることもあるかと思います。ケアマネジャーやサービス事業所は、「利用者の選択」が基本です。担当者を変更することもできます。気兼ねなく相談してくださいね。

私も、たくさんの笑顔が積み重なった人生を送れるよう、出会いを大切にしたいと思っています。

定期勉強会

●前回報告 4月15日（金）実施

テーマ「ノーマライゼーション・エンパワメント・

ICF…①」講師 武井幸穂氏

【参加者感想】今回は地域の方も参加してくださいました「こんな風に勉強会を行っているなんて思わなかった。とても勉強になりました」を話してくださいました。地域の方の参加も大歓迎です！

●次回学習会予定

日時：5月20日（金）18：30～19：30

テーマ：「ノーマライゼーション・ICF・エンパワメント…②」

*場所：エコトピア六番館 201号 *参加自由

ホームページができました！

★幸樹会ホームページUPされました！

<http://www.kouju-kai.or.jp/>

●からたち薬局

<http://ameblo.jp/karatachi-p/>

*「からたち薬局 ブログ」で検索できます

●あんず訪問看護ステーション

<http://ameblo.jp/an-zu-kouju-kai/>

*「あんず訪問看護ステーション ブログ」で検索できます

一緒ににはたきませんか！？

薬剤師・看護師・介護職員・ケアマネジャーの方々、お待ちしております☆

連絡先 一般社団法人幸樹会本部 中野三代子

住所：千葉県松戸市河原塚 411-1-102

TEL：047-701-7550

E-mail：miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp

編集後記

最近はお知らせしたいことが多く、幸樹の記事も盛りだくさんです。幸樹に載せきれていないことはブログでもお届けしています。ぜひそちらもご覧ください！（奥村万里子）